



自衛隊栃木地方協力本部

駐屯地との連携で、生徒の心に自衛官職選択のきっかけを与える！ ～高校生のインターンシップを支援～



1日目：宇都宮駐屯地
引率教諭と一緒に体験試乗



2日目：北宇都宮駐屯地
パイロットの飛行服を試着こぼれるような笑顔が見られた。

自衛隊栃木地方協力本部真岡募集案内所（所長 麦倉准陸尉）は、7月25日（火）～27日（木）の3日間、県内高校2校（益子芳星高校5名及び青藍泰斗高校1名）の2年生の自衛隊インターンシップを、足利地域事務所（所長 本村一空尉）と共に支援した。

本インターンシップは、生徒たちの勤労観や職業観等を育む体験学習の一環として行われており、「コロナ禍を経ての4年ぶりの実施ということもあり、生徒達は自衛隊の体験学習に期待に胸を膨らませて臨んだ様子であった。

今回のプログラムは、1日目は宇都宮駐屯地、2日目は北宇都宮駐屯地、3日目は古河駐屯地で実施し、自衛隊の概要説明・基本教練等の習得・体験搭乗・装備品展示説明等を受けた。

3日目の古河駐屯地では、レンジャー隊員による講話があり、経験談を交えながら「働くことの意義」について熱意ある講義を受けた。受講した生徒の一人は「私はレンジャーにとっても憧れているので、レンジャー出身の隊員さんにお会いできて感激しました！今後の進路の選択肢に自衛隊を考えていきたいです」と感想を述べていた。

真岡募集案内所は、「駐屯地で実施される体験学習は普段なかなか知ることのできない自衛官の仕事の現場を発信できる良い機会と捉えている。今後も、駐屯地との連携を図り、自衛隊が職業選択の一つになれるよう生徒たちの心にきっかけを与える募集活動に繋げていく」とコメント。



3日目：古河駐屯地
古河駐屯地司令（安田陸将補）と一緒に記念撮影



3日目：古河駐屯地
真剣に敬礼動作を体験